

三河商人道

PART
200

青年部とは 自分を再発見させてもらえる場



【会社・仕事への思い】

起業当時、仕事が無い時に前職でお世話になっていた方に「この業界の下請け企業は搾取されたまま、後継ぎも立てられず終えていく人間ばかりだが、君はその中の希望だろう。だから頑張ってくれ。」と言われ、それからは特殊な技術を磨き、岡成にしかできない物を供給することで業界の中で頼られる存在になりたいとの思いでこの仕事をしています。

【青年部に入会されたきっかけ】

当時、蒲郡商工会議所に所属していたが特に活動には参加していなかった。その後、会社で辛い経験をし精神的に非常に落ち込んでいる時がありました。そんな時に地元の親友である辻村君より「気分転換になるから」と誘いを受け、商売をやっている方々の意見を参考にしたいとの思いもあり入会をしました。

【思い出に残る青年部活動】

入会当時はほとんど例会(事業)に参加していなかったが、平成28年度の振興委員会の時の8月例会で「あきん猫みこし」を製作しました。そこで弊社のロープの依頼を受けたことで、初めて本格的に例会に参加するきっかけとなり、例会に携われたことが思い出に残っています。

【趣味など】

読書が趣味であり、自身の人生に最も影響を受けたのは城山三郎と加藤諦三です。自分の生い立ちから、自分自身が親になることに戸惑いを覚えることもありましたが、子供が生まれた時に真っ先に加藤諦三の本を買いに行き、その本を読むことにより親となる覚悟ができました。また、遺跡巡りも好きで勇退後はまず国内の遺跡を見て周りたいたいです。

【青年部とは・・・】

「自分を再発見させてもらえる場」

普段は会社で人から注意されることが中々ない立場だと思いますが、青年部では、誰かが指摘してくれます。また、自身の会社と違って思い通りにならないこともあるだろうがそれらは青年部の中でしか学べないことであり、様々なことを再発見させてもらえる場所でもあると思います。



～～取材担当～～
育成委員会

・西森紳司 ・鈴木博貴
・稲吉稔彦 ・小笠原樹
・菊池光太郎・七味隆夫
・浅井里英子・原田翔太